

監査報告書

私ども監事は、国立大学法人法第11条第4項及び国立大学法人法第35条において準用する独立行政法人通則法第38条第2項に基づき、国立大学法人岐阜大学の平成22年4月1日から平成23年3月31日までの平成22事業年度の業務について監査を実施しました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法の概要

監事は、平成22事業年度の監査計画及び一般に認められた監査手続に従い、役員会ならびにその他の重要な会議に出席するほか、役員（監事を除く、以下同じ）等から職務の執行について聴取し、岐阜大学の経営・運営状況を監査しました。また、内部監査との連携を深めて、本部、学部、附属病院等の主要な事業所における財産及び業務について、コンプライアンス遵守及び業務改善の観点から監査しました。さらに、会計監査人からの報告、説明を受け、財務諸表、事業報告書及び決算報告書につき監査を行いました。

2. 監査の結果

- (1) 事業報告書は、国立大学法人岐阜大学の業務運営の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 役員の職務執行に関し、不正の行為又は法令もしくは規定に違反する重大な事実は認められません。
- (3) 会計監査人有限責任あずさ監査法人の監査の方法及び結果は、相当であると認めます。

平成23年6月20日

国立大学法人岐阜大学

監事 水谷嘉之

監事 戸田一彦